

汗でつながる郷土愛



ほんぼうてるお
みなみ 南さつま市長(鹿児島県) **本坊輝雄**

一日一進の生きた経験を

私は、昭和30年10月に果樹農家の4代目として、焼酎とミカンとウイスキーのふるさと、加世田津貫に生まれました。

平地には田畑が広がり、山間部には100年の歴史あるミカンや金柑などの柑橘類と、緑あふれる豊かな自然に囲まれ、明治5年創業の本坊酒造株式会社(焼酎・ウイスキー製造)の焼酎工場や、良く利用していた南薩鉄道(昭和59年3月に風水害にて廃線した、薩摩半島西部を縦走していた私鉄)が、私の原風景です。

わが家では、年間100tを栽培する早生温州ミカンと金柑10tをはじめ、豚、鶏、



原風景・加世田津貫地域のシンボル「本坊酒造マルス津貫蒸溜所」付近

精米所などの農作業の手伝いと家畜の世話が日課であり、両親の目を盗んで遊ぶ時間をつくった程でした。

12歳上の兄と6歳上の兄、3歳上の姉は、普通高校から大学へ進学しましたが、私は両親の願いを受けとめ多少の反発はありましたが、小5・6年生の頃から高校は農業高校に進学し、家業を継ぐことと決めていました。

今では、公務の合間を縫って、先祖代々のミカンと南高梅混在の果樹園を、面積は縮小したものの栽培管理して、気分をリフレッシュしています。

また、私が講師となり、地域の期待に応えられるよう、新規採用職員などに「草刈り機取扱い等研修」を実施しています。

採用したほとんどの職員が、鎌や草刈り機を使用したことがなく、鎌の研ぎ方や草刈り機の刃の取り替え方など、操作方法を指導しています。

庁舎構内清掃や地域の道路愛護作業などで、職場や地域の即戦力になれるように、現場にあった研修などを実施しています。



新規採用職員の「草刈り機取扱い等研修」で講師を務める筆者(右端)

私は市長として、職員にいろいろな経験を積んでもらい、郷土愛を持って地域のさまざまな期待に応えられる職員になってくれることを願っています。

職員、地域の方々との交流

私は、中学校からテニスを始め、県立加世田農業高校ではテニス部主将として、小柄ながら、ねばりとガッツで全国高校総体、九州大会出場など全力投球の青春でした。

テニスとのご縁で、現在も二つのテニスクラブに所属し、南さつま市役所テニスチームでは、監督兼選手として鹿児島県実業団大会に出場し、令和3年、4年と連続して、「ベスト4」に残るなど、今でも熱いプレーヤーとして、20・30代の職員と心を一つにするいい機会を得ています。

また、鹿児島県テニス協会の会長にも就任させていただき、2023年「燃ゆる感動かごしま国体」で県内外の選手をお迎えられることを心待ちにしています。

私の住む津貫には、鎌倉時代から続く、鹿児島県指定無形民俗文化財「津貫中間豊祭太鼓踊」があります。コロナ禍により、ここ2年中止となりましたが、3年ぶ



県無形民俗文化財 津貫中間豊祭太鼓踊りを奉納(筆者:写真中央踊り手)



第33回鹿児島県実業団テニス大会 南さつま市役所テニスチーム(筆者:右から4番目)

りの開催に向け準備を進めるも踊り手がいらないとの相談を受け、約30年ぶりに踊り手として参加することになりました。

近くに住む孫にも声を掛け、一緒に地元あめのなまめしの天御中主神社で踊りを奉納し、小学生から60代までの23人が元気よく踊る姿を、地域の方々も大変喜んでくれました。

少しでも明るい話題を提供し、地域の方々とも交流ができたことは自分の活力にもつながりました。

自然の魅力を生かして

本市は、日本三大砂丘の一つ「吹上浜ふきあげはま」に面しています。その砂の活用を図るため、昭和62年に「砂像」がアメリカ西海岸から日本初上陸し、青年会議所の先輩らと共に「吹上浜砂の祭典」を創設し、35年目を迎えています。平成8年には、日本砂像連盟の仲間と共にカナダの砂像世界大会へも参加しました。2023年、吹上浜砂の祭典は、5月3日～5日の3日間「アニマルワールドツアー」世界の名所で出会う動物たち」

を砂像テーマに、市役所を中心とする「まちなか」で開催します。国内作家たちの精巧な砂像展示をはじめ、夜には花火やライトアップなど幻想的な光景を堪能できますので、ぜひ会場へお越しください。

北海道の雪まつりを夢みて、旭川冬まつりに、雪像制作者のリーダーとして有志と参加し、その後相互交流を経て、市長就任後、北海道の雄都旭川市と姉妹都市盟約を締結しました。北と南の雪と砂の交流から、特産品、青少年交流へと広がり、活発な交流を図っています。また、本市のスクールバスは、旭山動物園のペンギン・シロクマなどでラッピングし、子どもたちの朝夕の通学を温かく見守っています。

本市は、平成7年にサイクルシティ宣言を行い、自転車を活用したまちづくりを推進しています。

私も台湾の日月潭にちげつたんなどで2日間140km、瀬戸内しまなみ海道サイクリングフェスタで70km走破した経験があります。

本市では、ツール・ド・南さつま「海道八景めぐり」を開催し、南さつま海道の豊かな自然と景色や地元の方々のおもてなしを楽しんでいただいています。

また、武家屋敷群をはじめ、市内名所を巡る6～20kmのサイクリング



姉妹都市旭川市のペンギンラッピングスクールバスを出迎える筆者

コースの設定と計71カ所に路面表示を行うなど、サイクルツーリズムの環境整備にも力を入れています。ぜひ、本市にお越しいただき、白砂青松の吹上浜や美しいリアス式海岸などの雄大な自然景観、全国和牛日本一の鹿児島黒牛やかごしまブランド第1号の「加世田かぼちゃ」、金柑「春姫」などの豊富な食を存分に堪能していただきたいと思います。

市民と本市を訪れた方々を笑顔にするために、微力ですが今後も市政に全力投球で精進してまいります。